

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学 校 名 新 居 浜 市 立 大 生 院 小 学 校
(※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0060
愛媛県新居浜市大生院 1070 番地の 1

E-mail ohje-ad@esnet.ed.jp

Website https://ohjoin-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 128名 女子 133名 合計 261名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、ESDの活動テーマを『「つながり」を大切にする子どもの育成』サブテーマを「人・地域社会・自然との関わりを通して」として、ESDの実践を行っている。

全ての教育活動において、「つながり」を大切にされた交流活動や体験活動を数多く実践することを通して、他を思いやる心や責任感が養われ、豊かな感性とたくましい実践力が育ってくると考えている。地域を中心としたたくさんの人や恵まれた自然環境に囲まれ、支えられながらつながっていることを実感させ、より絆を深め、「つながり」を大切にする子どもを育てていきたい。

具体的には、「人や地域との関わり」から「つながり」を学んでいく活動と豊かな感性をもった人づくりと表現力を育てる教育環境づくりを柱として活動を行った。

① 「人や地域との関わり」から「つながり」を学んでいく活動

ア 地域諸団体及び地域資源を生かした体験活動

1年生 公民館のボランティアの皆さんと昔の遊び体験。

2・3年生 畑の先生と、食農体験活動として、生ごみ堆肥を利用した元気野菜づくり。

4年生 愛媛県総合科学博物館学芸員や夢遊友うずいの皆さんと行う渦井川水生生物調査、しいたけのほだ木作りの活動。公民館のボランティアの皆さんと七草がゆづくり体験。BFC活動。

5年生 お米の先生、JAの協力で行う、米づくり体験と餅つき体験。

6年生 公民館のボランティアの皆さんとしめ縄づくり体験。

イ 全校児童が体験する内容として、花いっぱい活動、愛りバー・サポーター活動、オリエンテーリング集会、ふれあい給食など。

ウ 中学校、地域諸団体、消防団と連携して実施している小中合同地域防災訓練。各地区太鼓台とのお祭り集会。

② 豊かな感性を持った人づくりと表現力を育てる環境づくり

ア オリエンテーリング集会での俳句作り

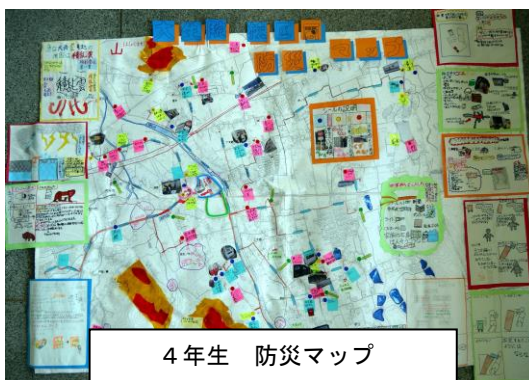
イ ふうせんの会による1～3年生の児童への読み聞かせ

ウ 学校司書によるブックトーク

エ みのりタイムにおける言語活動の重視



2・3年 食農体験



4年生 防災マップ



5年生 稲刈り体験



ふれあい給食

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各学年で、ESDカレンダーを作成し、各教科の学習、総合的な学習の時間、特別活動や学校行事において、ESDの視点をどのように関連付けて学習していくかを明らかにして、計画的に指導している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

様々な活動にあたる学年が中心となって、公民館をはじめ、関係諸団体との連絡を密にし、各活動がスムーズに行えるようにしている。
また、それぞれの活動が継続的に実施できるよう、次年度への引継ぎを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各事業ごとに実施後活動の評価（振り返り）を行っている。
全体としては、学校評価の中で、「地域との連携」を問う項目がある。教職員は、「そう思う」「ややそう思う」の答えが、100%であった。保護者は93%で、地域との連携が強く図られている結果となった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESDに関係する行事や授業は、ホームページに掲載している。また、学校だよりでも紹介している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

水生生物調査において愛媛県総合科学博物館学芸員の指導を受けている。
公民館が募集してくれるボランティアの行事への参加。
地域の自然環境保護団体「夢遊友うずい」との交流。
保護者が中心となったチーム大生院との交流。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

一年間の活動の最後に、お世話になったみなさんと給食を食べる「ふれあい給食」を実施している。一年間の感謝の気持ちを表すとともに、「つながり」を実感できる行事となっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

5月をめぐりに、各学年でESDカレンダーを見直し、平成30年度の活動計画を立てる。基本的には、平成29年度の活動を継続していく。各活動においてESDの視点を確認しながら活動を継続していきたい。